

第63回日本神経学会学術大会

「メディカルスタッフセッション」にご参加くださいました皆様へ

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

此の度は、東京で開催しました第63回日本神経学会学術大会にご参加いただき、誠に有難うございました。新型コロナウイルス感染症パンデミックに加えてウクライナとロシアの紛争の中、お蔭さまで現地参加は4,194名、WEB視聴者を含めると8,296名と、多くの皆様にご参加いただきまして、無事終了することができました。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今年は新型コロナのオミクロン変異株まん延による感染拡大という新局面を迎え、一ヵ月先の情勢をも見通せない中で、関係各位のご尽力により何とか対面を推奨とした、一部ハイブリッド方式で計画通りに開催することができました。本学術大会の運営にあたっては、学会事務局と運営事務局の双方の御協力のもとで、作業を進められました。また、プログラム編成にあたっては、学術委員や教育プログラム小委員、及び関連の皆様にも多大な御支援を頂きました。日本神経学会では学術大会国際化の大方針を掲げていますが、今回の企画プログラムの内、シンポジウム等の学術プログラムについては31%、一般演題が口演の43%、ポスター36%が英語での発表となり、国際化の充実化を目指しました。このように皆様からたくさんの御協力と御支援を頂き、学術大会を開催・運営することができました。ここに改めて感謝申し上げます。

神経疾患には介護度が高いものが多く、長期間の療養を要するものが多いこと、また難治性疾患の多いこと等、他の診療科とは異なった特徴があります。神経疾患診療においては、病気に精通した多職種の連携からなるチーム医療が欠かせません。そこで、本学術大会におきましては従来の学術大会の方針を踏襲して、メディカルスタッフの皆様から演題を募集すると共に、教育セミナーを企画させて頂きました。更にはメディカルスタッフのみで構成されているプログラムも企画させて頂きました。今回のプログラムがメディカルスタッフの皆様の明日からのお仕事のお役に立つものになったとすれば、誠に幸いに存じます。

ここに第63回学術大会の全日程が無事終了しましたことを報告させて頂きます。大会を盛り上げていただきました皆様に重ねて心より御礼を申し上げます。

以上、略儀ながら御礼のご挨拶とさせていただきます。皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2022年5月吉日

第63回日本神経学会学術大会

大会長 服部 信孝(順天堂大学大学院医学研究科神経学教授)

【大会長校事務局】順天堂大学大学院医学研究科神経学

【学会事務局】日本神経学会事務局

【運営事務局】第63回日本神経学会学術大会運営事務局
株式会社コンベンションリンケージ

大会長校事務局：

順天堂大学大学院医学研究科神経学 〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1

学会事務局：

一般社団法人日本神経学会 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2階 TEL：03-3815-1080 FAX：03-3815-1931

運営事務局：

株式会社コンベンションリンケージ内 〒102-0075 東京都千代田区三番町 2 TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8687

E-mail：neuro2022@c-linkage.co.jp

